

2024 年度 事業計画書

学校法人 悠久崇徳学園

長岡崇徳大学

上越看護専門学校

I 学校法人悠久崇徳学園 事業計画の概要

1. 悠久崇徳学園 法人全体

文部科学省によると、2005年に約137万人いた18歳人口は2023年には約112万人（約18%減）に減り、慢性的な18歳人口の減少となる。

今後、さらに減少は加速し、2035年に100万人の大台を割って約96万人、2040年に約82万人まで落ち込む見込みである。

特に人口減少が著しい地方の大学や知名度の低い大学は、今も定員割れに苦しむところが多く見られ、学生確保が一段と難しい状況となり、特に少子化が進む地方では、私立大学の4割が赤字となっている。

また、学生の動向として、看護師を志す学生が減少してきており、長岡市内の看護専門学校（3校170名定員）も入学希望者の減少が見られ、看護師を養成する学校は経営的に厳しい状況となっている。

当学園が運営する長岡崇徳大学は2年続けての定員充足率50%台が続き、上越看護専門学校も定員充足率が30%以上ダウンとなり、経常収支が改善されず当法人の経営を取り巻く状況は厳しさを増している。

昨年11月に実施された文部科学省の学校法人運営調査でも、定員充足率の確保が難しく、学生生徒等納付金収入が伸びず、財政状況の厳しさに加え、運営体制の不備を指摘されて、速やかに適切な経営改善が必要な経営指導法人と判断された。

このことから、今年度、緊縮財政に努め、支出をできるだけ減らして歳出規模の縮小を図ることを1番の優先課題とする。

次に、大学の生き残りをかけて（仮称）「大学再建委員会」を立ち上げ、定員充足率向上はもとより、科学研究費補助金獲得や運営資金確保のための寄付金獲得、学園経営に関する人件費、管理費等の軽減及び高大連携、入試広報改革等を検討する。

また、教育の質の確保とさらなる充実に向けた取組が必要であり、学生、保護者、教員、事務職員が一体となり教育環境の整備、教育の質を充実させることが2番目の重要な課題と考える。

さらに地域社会を支える看護人材を育てる場として、第2期中長期計画（2024～2027）を作成する年度とする。

一方、おかげさまで、長岡崇徳大学は令和6年の卒業予定者も50名すべてが就職内定を受けており、崇徳厚生事業団への、就職率も20%となる。

上越看護専門学校については、定員充足については厳しい状況には変わりはないが、卒業生（14期生19名）は上越地域にある病院への看護人材供給に関しては貢献できている。

しかし、経営に関しては看護師希望者の減少傾向もあり、慢性的な赤字が続いており、存続の意義を再考する時期が来ている。そのため、上越地域の行政・医師会・病院等と更なる連携が重要となっている。

2024年の当学園入学予定数は下記のとおりである。

長岡崇徳大学 40名（昨年度比 - 4名）、上越看護専門学校 25名（昨年度-16名）となっている。（令和6年3月8日現在）

景気の観点からは個人消費も回復力が強まる可能性は低く、24年春闘では、23年を上回る賃上げが実現する可能性が高いが、中でも物価高の影響が当面の最大の懸念材料である。

コロナ禍で抑制された水準からのリバウンド需要が一巡していることもあり、消費は低迷が続く見込みである。24年度前半の景気は回復感に乏しい状態が続く可能性が高い。

この状況下で、家計への負担増が影響しており、世帯収入が少ないほど大学進学を希望する割合も低く、この傾向は私立大学において特に顕著である。

次に県内の看護師を育成する学校の状況については、北里大学保健衛生専門学院が4年生大学となり、新入生については、入学金や授業料が全額給付予定とのことである。

また、既存の長岡市内の看護専門学校3校（定員170名）とも定員に満たない状況があり、看護師養成校の学生獲得は全体に厳しい状況にある。

今後、看護師養成を行う学園経営は極めて厳しくなっていくため、速やかに学生の進学動向の情報収集・分析を多面的に行い、具体的な対策を立て実践する必要がある。

このことから、今年度は、教職員、事務職員との協力体制を密にして、“地域をつなぐ「看護力」を育む”をスローガンに財政再建と学生の定員充足率向上及び学校法人のコンプライアンス経営の強化に努め、学園の継続ができる管理・運営体制の確立を重要課題と位置づける。

(1) 設置学校の定員充足率の向上に向けた取組

- ・過去5年間の入学志願状況等（志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率）及びHPやWeb閲覧、DM発信、OC参加数（内容検討）、資料請求数、広報活動（ガイダンス含む）、等の分析を行い、経営安定を図る学生数（大学充足率80%、上越校85%）を目標とする。
- ・これまでの入試対策を再検討し、学生獲得重点地区の選定や入試関連日程の変更、特別選抜や学校推薦を重視し、年内合格者の獲得に力を入れる。
- ・学生募集のため、卒業生からの協力を得て、学園の魅力発信に努める。
養成する人材像、奨学制度などの修学支援の内容、就職支援の内容、卒業生が出た高校訪問に力を入れ、崇徳厚生事業団内にある実習先の魅力を伝えられるような広報活動を行う。
- ・学生の経済的支援の充実を掲げ、昨年より実施した学費サポート制度（入学金免除制度）を対象市町村、対象校に積極的なPR活動を実施する。
また、崇徳事業団による教育費等への支援及び返済助成制度、奨学金の在り方等を検討する。

(2) 緊縮財政の実施による財政基盤の強化と法人のガバナンス強化

- ・大学の完成年度を迎えることができたが2か年連続の充足率50%台となるため修学支援制度継続の可否が難しい状況であることから、支出をできるだけ減らした緊縮財政に努める。（寄付金獲得のための覚書の締結、経常費予算コスト削減、予算執行・管理の厳格化等実施）

- ・公認会計士及び監事監査、内部監査による内部統制の充実を図る。
(事業継続 (GC : going concern) の前提に関する事項の注記回避に努める。)
- ・私学法改正に向けた準備年度とする。
- ・PDCA サイクルを活用し、ガバナンス強化に向けて、法人の経営改革を着実に進める。
 - ①社会のニーズを踏まえた大学法人運営の規律強化。
 - ②監事の監査体制の強化を図る等の制度改正を踏まえた法人運営を着実に進める。
 - ③学園のガバナンス統治と社会的責任の追求。
学校法人の沿革や多様性にも配慮しつつ、かつ、社会の要請にも応え得る、実効性ある改革を実施する。

(3) 学校法人の組織体制を見直し、戦略的な組織づくりによる取組み実施

- ・新たな組織体制づくりによる一体感の醸成と人的配置の最適化実施。
- ・学園のブランドイメージを学生などからどのように持たれたいかを決め、戦略を立てて取り組むことが重要であり、ブランドに対する認知度を広げて、学園のサービスの価値をより高めていき、学生などとの関係を長期にわたって良好なものにする。
- ・人事考課制度導入による教職員の能力と意欲を向上させるための人材育成の実施。
- ・衛生委員会による職員のストレスチェック実施と産業医による面接指導を実施し、就労しやすい環境づくりを行う。
- ・学生向けアンケートによる課題の明確化と早期改善実施及び田宮病院と連携し、学生のメンタルケアの推進。

(4) 学園・地域の連携・協働による教育の推進

- ・長岡崇徳大学教育センターを立ち上げ、認知症看護認定看護師教育課程（特定行為行為研修）実施する。（令和6年4月開始）
- ・長岡崇徳大学大学院設置申請実施（令和8年開設予定）
- ・学園と地域が連携、協働し、地域社会との多様な関わりや体験・交流の機会を得られる取組を推進する。
長岡技術科学大学とのパートナーシップ協定締結や4大1高専との協働事業の実施。
新潟県内看護系大学との交流や連携を図る活動の実施。
- ・情報開示を積極的に行い地域社会、利用者等からの評価を得て、看護教育成果の社会還元に努め、地域社会等への貢献事業を積極的に行う。

(5) 崇徳厚生事業団との連携推進

- ・崇徳厚生事業団法人等より、継続的な寄附を受けられる体制を設定する。（覚書の作成）
- ・崇徳厚生事業団の一員として、積極的に崇徳厚生事業団の主催する学会やセミナーへの参加等を行う。

2. 長岡崇徳大学

(1) 目標

- ・学生の主体性と自律性を育む教育を展開する。
- ・教職員の協働力を高め、委員会活動の活発化と効率化を図る。
- ・研究活動を促進させ、外部資金獲得へ向けた取り組みをする。
- ・看護の専門性を高める教育を推進していく。

(2) 教育課程

- ・教育目的・目標を達成するために、令和4年度に見直しをした、教育課程に則り、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに則した教育を行うとともに、「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠した教育を実施する。

(3) 学生の確保

- ・本学の強み・特色を生かし、効果的な広報活動による本学志願者増加を図る。
- ・Web、SNSを活用した、志願者（高校生）に対するPRの充実。
- ・高大接続改革に伴う入試改革について、大学入学者選抜実施要項に基づき、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーに基づいた学生を受け入れるため、入学希望者の意欲・能力・適性を多面的・総合的に判定・評価した入試を実施する。
- ・Web（本学ホームページ、進学サイト）、SNS（LINE、YouTube）により在学生やWebオープンキャンパス動画などの情報発信
- ・新聞、テレビCMなどマスメディアを利用したOC、入試の告知
- ・オープンキャンパス、入試日程等のタイミングに合わせた高校訪問の実施（新潟県内及び近隣県（山形、福島、長野等）
- ・高校生向けガイダンスへの参加
- ・4月から3月までオープンキャンパス8回開催、個別相談（8月、10月、12月）実施
- ・公共交通機関を利用したPR（長岡市内バス放送、JR長岡駅のデジタルサイネージ広告継続）により大学の認知度を高める。

(4) 地域連携

- ・令和6年度において長岡市との連携協定を正式に結ぶことにより、本学の特徴を活かしつつ行政との緊密な連携を図り、人口減少や少子化を見据え、双方が知恵を出し合い、地域と大学がともに発展できる関係を構築する。
- ・教育センター設立により、新潟県及び県看護協会が推進する「専門性の高い看護職員育成新潟モデル」の構築のため、『認知症看護認定看護師養成研修、特定行為研修』を開始し、県内大学及び医療機関との連携を図り、大学地域貢献を実施する。

(5) 安定的な収入確保

- ・完成年度2年目にあたり、私立大学等経常費補助金の収納を図る。
- ・定員の確保により、学生生徒等納付金及び新潟県補助金の確実な収納を図る。
- ・公的研究費などの外部資金の獲得や寄付金などの確保により、収入の安定化を図る。

(6) 資産活用（合理的なリスク管理と運用効率の検討等）人的、物的資産の活用

- ・生成A I の基礎知識を学び教育における活用方法を理解する。
- ・学務システム、会計システム、ワークフローシステムの活用と業務の見直しにより、業務の合理化・効率化を図り、人的資産を有効に活用する。

(7) 施設設備計画

- ・日頃のメンテナンスにより、建物、備品等の故障、修繕の発生を最小限に抑えることにより、支出削減を図る。

(8) 支出管理の徹底

- ・予算執行状況を常に把握し、適切な執行を図ることにより、無駄な支出を削減する。
- ・備品の共用などにより重複購入を避ける。
- ・個人研究費の適正な支出管理を実施する（研究計画の提出及び予算案、研究報告提出を求め、適正な個人研究費の執行をめざす。研究費不正使用防止に向け財務課・内部監査・監事・公認会計士などとの連携によりガバナンスの構築強化を図る）。

(9) 財務予測の分析実施

- ・定期的（毎月、四半期毎、半期毎）な予算執行状況の把握により、予算規律を守る。
- ・予算編成時の徹底したヒアリングにより、効率的な支出バランスを図り、支出抑制する。

(10) 学生数の現状及び目標（令和6年3月8現在）

	1年	2年	3年	4年	合計	定員充足率
2024年度(令和6年)	40	44	73	73	230	71.9%
2025年度(令和7年)	64	40	44	73	221	69.1%
2026年度(令和8年)	64	64	40	44	212	66.3%
2026年度(令和9年)	64	64	64	40	232	72.5%

3. 上越看護専門学校

(1) 入学定員の確保

① 広報活動の充実

- ・ スクールガイド 2025 を早期に配布する
- ・ スクールガイド 2026 を早期に制作する
- ・ 学生支援制度の周知を図る（PC 無料貸与・家賃補助・教育訓練給付金）
- ・ 隣県への広報募集活動を実施する
- ・ ガイダンス頼りの募集活動からの脱却を図る（SNS への移行）
- ・ 学生と連携した広報を行う（SNS の活用）

(2) 教育環境の整備

① 建物の経年劣化に伴う改修を実施する

- ・ 普通教室化工事
- ・ 正面玄関ドアフロアヒンジ取替工事
- ・ 駐車場舗装修繕工事
- ・ 演習室 2 北側窓改修工事

② 教育研究用備品の整備

- ・ 沐浴人形 柔シリーズ ペア A 型
- ・ 図書室閲覧用テーブル

③ 危機管理体制の強化

- ・ 自然災害等に関するマニュアルの評価と見直し
- ・ ANPIC の周知徹底と訓練を実施する
- ・ 感染予防対策の見直しと検討を行う

(3) 教育活動の充実

① 実習指導教員との協働の促進

- ・ 実習指導教員の学習・意見交換会を年 1 回実施する
- ・ 実習指導教員との意見交換会であがった課題を教員会議で共有・検討する
- ・ 実習指導教員の役割の再検討を行う

② 教員の教育実践能力の向上

- ・ 人事考課のコミュニケーションシートを用いて目標の明確化を行い、目標に沿った学会・研修会・講習会への参加と報告会を実施する
- ・ 新人教員への教育体制を充実するため、プリセプター制度を継続する
- ・ 研究授業規定により、研究授業・協議会を継続する

③ 国家試験対策の強化

- ・ チューター制度を継続し、各人に合わせた指導と精神面の支援を行う
- ・ オンラインセミナーを継続し、学習進度に合わせた内容を検討する

(4) 組織の活性化

①新カリキュラムの運営と評価

- ・ 社会人基礎力・看護実践力のレベル目標の評価を行う
- ・ 新カリキュラムにおける新設科目の運営と評価を行う

②職員のモチベーション維持・向上

- ・ 教職員の行事の企画と実施を推進する
- ・ 各自の目標に則った学会・研修会・講習会への参加を促す

③ワークライフバランスの充実

- ・ 年休取得率の向上を図る
- ・ 業務の見直しと検討を行う

(5) 学生数の現状及び目標

	1年	2年	3年	合計	定員充足率
2024年度(令和6年)	27	37	24	88	73.3%
2025年度(令和7年)	34	27	37	98	81.7%
2026年度(令和8年)	34	34	27	95	79.2%
2027年度(令和9年)	34	34	34	102	85.0%

II 法人の概要

(1) 法人の沿革

1992年4月	社会福祉法人長岡福祉協会長岡福祉専門学院開校。介護福祉学科を設置。
1995年4月	看護学科を設置・併設し、校名を長岡看護福祉専門学校に改称。
2005年4月	学校法人崇徳医療福祉学園設置認可。長岡看護福祉専門学校設置者を同学園に変更。
2008年4月	上越看護専門学校開校。看護学科を設置。
2010年4月	学校法人長岡総合学園と合併し学校法人悠久崇徳学園を設立。設置校は長岡看護福祉専門学校、上越看護専門学校、悠久山栄養調理専門学校、長岡美容専門学校との4校となる。
2014年7月	学校法人悠久崇徳学園から学校法人長岡総合学園が分離。設置校は長岡看護福祉専門学校、上越看護専門学校の2校となる。
2017年4月	長岡看護福祉専門学校 介護福祉学科 入学定員を30名に変更。
2018年8月	長岡崇徳大学 設置認可。
2019年4月	長岡崇徳大学 開学。看護学部看護学科を設置。 長岡看護福祉専門学校看護学科 募集停止（大学新設に伴う）。
2021年3月	長岡看護福祉専門学校看護学科廃科（介護福祉学科単科となる）。
2021年4月	長岡看護福祉専門学校を長岡崇徳福祉専門学校に校名変更。
2022年4月	長岡崇徳福祉専門学校を社会福祉法人長岡福祉協会へ移管。設置者変更。
2023年3月	長岡崇徳大学第1回卒業式挙行（卒業生38名）
2023年3月	長岡崇徳大学設置計画履行状況等調査、指摘事項無しの結果となり、私立大学経常費補助金の交付申請大学となる。（令和5年度より交付可）

(2) 設置する学校・学部・学科

設置する学校	設置年月	学部・学科等	修業年限	入学定員	収容定員
長岡崇徳大学	2019年4月	看護学部 看護学科(2019年4月)	4年	80人	320人
上越看護専門学校	2008年4月	看護学科(2008年4月)	3年	40人	120人

(3) 学校・学部・学科等の学生数の状況（2024.3.1現在）

長岡崇徳大学

（単位：人）

	入学定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員	充足率
看護学部看護学科	80	40	44	73	73	230	320	71.9%

上越看護専門学校

(単位：人)

	入学定員	1年	2年	3年		計	収容定員	充足率
看護学科	40	38	24	31		93	120	77.5%

(4) 役員の概要 (2024. 3. 1 時点)

【定員数】理事 8～9 名 監事 2 名 【現員数】理事 9 名 監事 2 名

【重任後の任期】2022. 5. 30～2024. 5. 29

区分	氏名	常勤・非常勤 の別	就任年月日	重任年月日	選任区分等
理事長	田宮 崇	非常勤	2010. 4. 1	2022. 5. 30	評議員会選任
常務理事	森 啓	常勤	2016. 5. 30	2022. 5. 30	長岡崇徳大学学長
常務理事	内山 聖	常勤	2020. 5. 30	2022. 5. 30	理事会選任
理事	巻 瀧 隆夫	非常勤	2018. 8. 31	2022. 5. 30	上越看護専門学校校長
理事	小坂 拓	非常勤	2017. 10. 11	2022. 5. 30	評議員会選任
理事	田宮 由紀子	常勤	2017. 7. 25	2022. 5. 30	理事会選任
理事	的場 已知子	非常勤	2018. 5. 30	2022. 5. 30	理事会選任
理事	廣川 敢	非常勤	2011. 9. 22	2022. 5. 30	理事会選任
理事	小見 誠	常勤	2022. 5. 27	2024. 5. 26	理事会選任
監事	河上 恭雄	非常勤	2018. 5. 30	2022. 5. 30	
監事	五十嵐 芳人	非常勤	2019. 9. 1	2022. 5. 30	

(5) 評議員の概要 (2024. 3. 1 時点)

【定員数】17～19 名 【現員数】18 名

【重任後の任期】2022. 5. 30～2024. 5. 30

区分	氏名	就任年月日	重任年月日	選任区分	摘要
評議員	田宮 崇	2010. 4. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人理事長
評議員	内山 聖	2017. 10. 11	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人常務理事
評議員	廣川 敢	2011. 9. 22	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人理事
評議員	的場 已知子	2014. 7. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人理事
評議員	佐武 明	2010. 4. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	
評議員	井上 恵	2018. 5. 30	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	
評議員	田中 憲一	2010. 4. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	
評議員	齋藤 智	2019. 9. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	
評議員	小見 誠	2020. 5. 30	2022. 5. 30	法人職員 (評議員会選任)	法人理事 法人事務局長
評議員	田宮 由紀子	2017. 7. 25	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人理事
評議員	小坂 拓	2017. 10. 11	2022. 5. 30	設立趣旨賛同者 (理事会選任)	法人理事
評議員	京極 高宣	2018. 8. 20	2022. 5. 30	設立趣旨賛同者 (理事会選任)	

評議員	中村悦子	2018. 8. 20	2022. 5. 30	設立趣旨賛同者 (理事会選任)	崇徳厚生事業団理事
評議員	木村伸彦	2023. 3. 25	2022. 5. 30	卒業生 (理事会選任)	小規模多機能居宅介護美沢 業務課長
評議員	平澤則子	2023. 3. 25	2024. 5. 29	法人職員 (評議員会選任)	長岡崇徳大学学部長
評議員	森 啓	2016. 5. 30	2022. 5. 30	法人職員 (評議員会選任)	長岡崇徳大学学長 法人常務理事
評議員	巻 淵 隆夫	2011. 5. 23	2022. 5. 30	法人職員 (評議員会選任)	上越看護専門学校 校長、法人理事
評議員	江口郁子	2019. 9. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	崇徳厚生事業団 研究員
評議員	古出哲彦	2022. 5. 30	2022. 5. 29	設立趣旨賛同者 (理事会選任)	

(6) 2024年度教職員の見込 (令和6年4月1日)

長岡崇徳大学

(単位：人)

学部 (看護学部)	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
本務者	1	9	5	9	6	1	31

学部 (看護学部)	大学職員	法人職員
本務者	19	2
兼務者	2	3
非常勤	3	1
他法人に出向	0	2
小計	24	8

上越看護専門学校

(単位：人)

学科	区分	校長	副校長	教務主任	教員	小計	合計	職員
看護学科	専任		1	1	7	9	10	4
	非常勤	1			1	2		
	計	1	1	1	8	11	10	4